

日 時 令和4年7月11日(月) 13時30分～16時
場 所 榛原庁舎4階会議室
出 席 者 別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶(大石会長)

3 協 議

委員24名中21名(欠席:都築委員、小菅委員、辻村委員)の出席により会議成立。

(1)榛原、相良市街地のデマンド乗合タクシーの導入について … (承認)

資料1-①榛原市街地、相良市街地デマンド乗合タクシーについて

- ②デマンド乗合タクシー「しずなみ・かわさき号」の概要について
- ③デマンド乗合タクシー「ほそえ号」の概要について
- ④デマンド乗合タクシー「さがらにし号」の概要について
- ⑤デマンド乗合タクシー「さがらひがし号」の概要について

【質疑応答】

(増田委員)

デマンド乗合タクシーで静岡空港への利用はどれくらいあるのか。

(事務局)

さかべ号で46人、すげやま・はぎま号で23人利用されている。

(増田委員)

1時間の便配分だと乗務員が厳しいと思うがどう考えているか。

(大塚委員)

これが動き出してみてもやってみないとわからない。事業者としては最大限の努力をして上手くやっていきたい。問題が発生した場合には相談して解決していきたいと考えている。

(静岡県 長田委員代理)

今回の導入エリアが藤枝相良線、島田静波線、静岡相良線と被っている。藤枝相良線と島田静波線については、地域間幹線系統という形で国と県、牧之原市でも補助をしている路線である。試験運行で運行日が限定されているとはいえ少なからず影響が出てくると思うので、乗客の利用等で地域間幹線系統への影響を検証してほしい。

(事務局)

バスも大事な公共交通と考えているため、デマンドの導入に当たり当初の制度設計の中でも年齢制限や運行日の限定や運賃設定をして、バスへの影響が少なくなるようにしているが、今後は様子を見ていき、調査等もしていきたい。

(野澤委員)

勝間田区にも一つくらいは目的地を設定してもらえるとありがたい。

(事務局)

目的地の追加は導入後もできるため、地域の意見を聞いて使いやすいよう改善していく。

(山内委員)

試験運行後に本格運行に移行する際は利用者数などの判断基準はあるのか。

(事務局)

資料2-③のスライド27に記載をしているが、試験運行終了3ヶ月前時点で直近3ヶ月の利用状況で事業評価をする。、達成目標や本格運行への移行基準も設定し、達成していれば地域公共交通会議に諮っていき、承認をいただければ本格運行へ移行していく。

4 報告

(1) 牧之原市地域公共交通網形成計画の評価について … (報告)

資料2—①令和3年度評価報告書について

②計画における数値目標の達成状況について

③公共交通の現状について

※③のスライド3、4は未更新。

【質疑応答】

(野澤委員)

別の会議でデマンドタクシーの話になった時に知らない人がいた。知名度の向上をお願いしたい。

(事務局)

状況報告の形で1年に1回以上は回覧物を作成し、地域に回覧をしてもらっているが、周知についてはこれからも積極的にしていきたい。

(増田委員)

特急バスの榛原総合病院への乗入れのダイヤ設定を考えてほしい。上り線の6時から8時、16時から20時、下り線の7時から8時、17時から20時。特急バスがこの時間帯は乗り入れていない。人間ドック受診の方で車で送り迎えしている人を見かける。こういう人たちを取り込めればバスのお客を増やすことができるので考えておいてほしい。

(伊豆原座長)

コロナの影響で減った利用者も少しではあるが回復してきた。今後さらに戻ってきてくれるか、需要の状況を見て検討していただきたい。

(杉林委員)

相良本通の上屋はベンチもありよいバス停になった。バス停の位置も国道から変わったので良かったが、最初は場所が分かりづらかった。

(事務局)

資料4にて説明をさせていただきます。

(2)相良本通バス停周辺の環境整備について

… (報告) 資料4

【質疑応答】

(鈴木委員)

反対側には上屋を設置する予定はないか。

(事務局)

今のところ整備計画は無いが、様子を見ながら整備の検討はしていきたい。

(増田委員)

- ①有料の駐車場が近くにあるので、そこに屋根ぐらいの整備はできないか。
- ②浜松ナンバーの車がバスを降りる人を待っているため、この人達用の駐車場も整備したらどうか。夕方から夜にかけて待っている車が多い。
- ③上屋ができて照明も付いた。以前は真っ暗なところにバス停があったので安心できるとの話を聞いたので報告する。

(伊豆原座長)

バスを降りる人を待つ車の対応は難しい。交通安全に気をつけてもらうくらいしかやりようがないかと思う。待合所があればよいが整備も現実的に難しい。事業者や関係市と協議を続け、良い方法を見つけ出してほしい。

(3) 牧之原市地域公共交通計画の策定について … (報告)

資料3-① 牧之原市地域公共交通計画の策定に係る方向性について

② 牧之原市地域公共交通計画策定における課題

③ 牧之原市地域公共交通計画に係るニーズ把握について

【質疑応答】

(藁科委員)

資料3-②でネットワークに対する課題に記載のある課題②については把握しており、関係市と協議をしている。課題そのものに対する解決方法の記載が特急静岡相良線にその原因があるような記述となっていると見受けしてしまう。特急相良線については静岡地区と榛南地区を結ぶのが路線の意義であり、榛南地区の中に細かくバス停を設置するより、主要拠点と静岡市を結ぶことが路線特性であると考えている。細かくバス停を設置することは特急線としての本来の意義を消失してしまうことを牧之原市、御前崎市には主張させていただいている。我々としては特急線以外に解決策があると思うので記載についてはそのことを踏まえた表現にしてもらいたい。

(事務局)

計画の中で特急静岡線が問題という位置づけにするつもりはなく、便利な形にという表現になるかもしれないが、問題としている意図もありません。

(増田委員)

資料3-②のサービスに対する課題の②で、運賃が高いと書いてあるがその他の重視したい点②将来人口のサービス例の定期券補助と連携しているのか、同じことが書いてあるのか。また、乗り換え時間が合わない等の記述は、バス事業者も努力しているのに関わらず記載があるのはおかしい。また、タクシー事業者のことも考えて貰わないとバスとの接続が上手くできないと思う。

(事務局)

乗り換えの時間については、事業者路線に接続する市の自主運行バスについて課題があると思っている。市のバスが変更していくという意味で記載をしている。運賃についても変えるべきではないと考えていて、例えばの話で定期補助とかができればよいと思っている。

(伊豆原座長)

表現はこれからチェックや精査をしていく必要がある。

(山内委員)

この地区は車や自転車がないと生活に不便な地区であり、デマンドのような制度は必要と感じた。サービスに対する課題の中に免許返納があるが、免許返納はなかなか簡単にはいかないのが現状である。デマンドを利用してくれる人が増えれば免許返納が進んだり、事故の減少につながると思っている。免許返納が進むサービスを考えてもらいたい。

5 その他

バス停の安全性確保対策の進捗状況について

(中部運輸局静岡運輸支局 原田委員 説明)

【質疑応答】 特になし

6 閉会